



ŌMIYA NEWS



No.27 2023年 8月 16日 JR東労組大宮地本

終戦から78年! 今こそ私たちに出来ることを考え行動しよう!



過去の過ちを繰り返さないために今を捉え返し考えよう! 「新たな戦前」にしてはならない!

8月15日、78回目の「終戦の日」を迎えました。終戦から長い年月が経過し、戦争体験者から直接学ぶことが困難な状況の中、戦争の記憶そのものが薄れてしまう事が危惧されています。一方、ロシアによるウクライナ侵攻は混迷を深め、台湾海峡での緊張や軍事同盟の強化やさらなる軍拡に向けた動きなど、私たちは冷戦以降最大の平和の危機に直面していると言っても過言ではありません。

そのような中、昨年政府は「安保関連三文書」を閣議決定し、「敵基地攻撃能力」や防衛費の増額等、大規模な軍備拡張を推し進めています。憲法9条では、「戦争放棄」や「戦力の不保持」が定められていますが、その理念が大きく揺らいでいます。また、自民党をはじめとする「改憲勢力」が3分の2を超え、改憲発議がいつでも可能な情勢です。有事法制で「武力攻撃等への対処に関し…必要な措置を実施する責務を有する」と定められた「指定公共機関」であるJR東日本で働く私たちにとって、戦争は決して他人事ではありません。

私たちは今こそ憲法改悪を許さず、全ての戦争政策に反対し、平和で安心して暮らせる社会求めて行動しなければなりません。大宮地本主催の『「平和・人権・民主主義」を守り抜き、美世志会と共に平和な未来を創り出す8・26集会』に結集し、共にたたかいを創り出そう!

歴史の教訓から学び、憲法改悪と軍拡を許さず、平和で安心して暮らせる社会を守り抜くために、仲間と共にたたかおう!